

平成 22 年 2 月 26 日

助成研究の中間報告

助 成 番 号 第 3 4 4 - 7 号	助成研究名		研究者・所属
	都市型観光地におけるモビリティ・デザインのある 方に関する基礎的研究		
中間報告の期間			助成決定から平成 22 年 2 月までの研究
【研究の進捗状況】 1. 都市型観光地における移動に関する現状の把握 対象地域（京都市東山地区）の現地踏査を実施し、情報収集、現状把握を行っている。 2. モニター調査による観光地の交通バリアフリーの現状把握 市外から京都へ来訪する身体障害者等によるモニター調査は、検討の結果、京都観光で最も混雑する紅葉シーズンを避け、平成 22 年春（5 月末頃）に実施しよう変更とした。 3. 都市型観光地における快適なモビリティを確保するための手法研究 当初計画通り、平成 22 年 4 月以降着手の予定。 4. 都市型観光地におけるモビリティ・デザインのあり方の研究 当初計画通り、平成 22 年 8 月以降着手の予定。 平成 21 年 12 月 10 日に第 1 回研究会を開催した。 【現時点で得られている成果】 京都市東山地区の現地踏査による情報収集、現状把握から以下の課題が得られた。 ・地区の入口までのアクセス情報不足、地区内の観光スポット間移動のための情報不足 ・道路面の管理不足による段差 など 都市型観光地のモビリティ・デザインを研究するにあたり、身体障害者などの移動制約者の観光への発意、事前情報の収集方法、旅行計画の立案方法、観光地での観光の楽しみ方など、当該者の意識、行動、判断などの把握することの重要性が確認された。 【今後の見込み】 ・身体障害者などの移動制約者の観光への発意、事前情報収集、旅行計画の立案方法等の把握 ・モニター調査による観光地の交通バリアフリーの現状把握（平成 22 年 5 月末） ・快適なモビリティを確保するための手法研究 ・都市型観光地におけるモビリティ・デザインのあり方の研究			